

肥料価格高騰対策(春肥)のお知らせ

# 農業者の皆さんへ

農業経営への影響を緩和するため

**肥料価格値上げ分の8割(国7割+県1割)※**  
を補助します

※県の補助については予算に上限があるため、8割を下回ることがあります。

## 対象となる肥料

今回(春肥)は、**令和4年11月1日～令和5年5月31日**  
に注文・購入した**肥料**※が対象です！

※肥料の品質の確保等に関する法律で登録された肥料が対象となります。

## 対象者

化学肥料の使用量を減らす取組を2つ以上行う農業者

## 申請期間

令和5年**6月20日(火)～7月21日(金)**

(平日のみ:受付時間8:30～17:15)

## 申請方法

JAで購入した肥料分の申請は営農経済総合センターまたは各支店に申請書類を提出してください。その他の肥料分については購入先の肥料店などにお問合せください。

## <申請までに①～③を準備してください>

- ① 肥料価格高騰対策事業(春肥分)申請書
- ② 化学肥料低減計画書(使用量を減らす取組をメニューの中から選ぶ)
- ③ 支援金振込先となる普通貯金口座の通帳

■ 最新情報・詳細は群馬県ホームページでご確認ください ■



### ←QRコードの読み取り方

- ① まず、スマホのカメラを立ち上げる
- ② スマホの画面にQRコードを映す
- ③ 画面に表示された文字をポンと指先で軽くたたく
- ④ 県ホームページが見られる

※QRコード(R)は、株式会社デンソーウェーブの登録商標です

## お問い合わせ先

JA利根沼田 営農畜産部

TEL:0278-50-6111 E-mail: einoukikaku@jatone.or.jp

群馬県農政部技術支援課(県協議会事務局)

TEL: 027-226-3038 E-mail: shokubou7@pref.gunma.lg.jp



利根沼田農業協同組合  
代表理事組合長 田村 活幸 様

申請者  
法人名 \_\_\_\_\_  
氏名(代表者名) \_\_\_\_\_  
住所 \_\_\_\_\_  
電話番号 \_\_\_\_\_

令和5年度肥料価格高騰対策事業(春肥分) 申請書

肥料価格高騰対策事業(春肥分)の支援金を受給したいので、下記のとおり申請します。

記

1 申請する支援金額(国) \_\_\_\_\_ 円 取組実施者確認欄   
注文票及び領収書(又は請求書)は別添のとおりです。

算定式:

支援金額 = {①春用肥料費 - (①春用肥料費 ÷ ②価格上昇率 ÷ 使用量低減率0.9)} × 0.7

①春用肥料費 (令和4年11~令和5年5月分)	②価格上昇率
	1.40

2 支援金の振込口座 取組実施者確認欄   
支援金の振込みは以下のとおりお願いします。  
(アとイの該当のする方に○印をつけてください。)

ア いつも使用している口座へ振り込んでください(下表と預金通帳等の写しの添付は不要です。)

イ 下記の口座に振り込んでください。

金融機関(ゆうちょ銀行以外)									
金融機関コード(数字4桁)									
金融機関名 農業協同組合 銀行 信用金庫 信用組合 労働金庫 信連 農林中金									
支店コード(数字3桁)									
支店名									
預金種別(該当のものを右欄に記入してください。) 普通 当座 別段 通知									
口座番号		(7桁に満たない場合は、右づめで記入してください。)							
口座名義		カナ							
		漢字							
ゆうちょ銀行									
記号									
番号									
口座名義		カナ							
		漢字							

3 化学肥料の低減計画について  
参考様式第2号「化学肥料低減計画書」のとおりです。

取組実施者確認欄	
取組2つ以上に○	
確約にチェック	
自署	

4 誓約・同意事項について

私は、支援金の申請にあたって、次の事項を誓約・同意します。  
(内容を確認の上、チェック欄に○を付け、署名をお願いします。)

取組実施者確認欄	
----------	--

チェック欄

- |                          |   |
|--------------------------|---|
| <input type="checkbox"/> | 1 支援金の振込みに必要な振込手数料について、支援金額から差し引くことを承諾します。                                |
| <input type="checkbox"/> | 2 この事業に係る報告や立入調査について、国や県協議会等から求められた場合に応じます。                               |
| <input type="checkbox"/> | 3 取組の実施が確認できる書類等の証拠書類について、支援金を受給した年度の翌年度から5年間保管し、県協議会又は国等から求められた場合は提出します。 |
|                          | 4 以下の場合には、支援金を返還することに異存ありません。   |
| <input type="checkbox"/> | ア 化学肥料低減計画書及びその他の提出書類において、虚偽の内容を申請したことが判明した場合                             |
| <input type="checkbox"/> | イ 正当な理由がなく、化学肥料低減計画書に記載した取組を実施していないことが判明した場合                              |
| <input type="checkbox"/> | 5 自治体から本申請に係る情報の提供依頼があった場合に、提供することに同意します。                                 |

氏名(自署) \_\_\_\_\_

## 化学肥料低減計画書

作付概要	
作物名	作付面積 (ha)
その他	
計	

秋用肥料	春用肥料	年間
	○	

注：該当するものに○を付けること

**法人名**  
 氏名(代表者名) \_\_\_\_\_  
**住所**  
 電話番号 \_\_\_\_\_

左記の作付面積は全て群馬県内か。  ※

※群馬県在住の方は回答不要です。県外在住の方は「全部群馬県内」、「一部群馬県内」、「全て群馬県外」のいずれかでご記入ください。

1. 実施する(してきた)取組メニューに「○」を付してください。
2. 「令和4年度又は令和5年度の取組」には、実施する取組メニューが2つ以上必要です。そのうち1つ以上は、新しい取組、従来の取組の強化・拡大(「◎」で記入)を含むようにしてください。

取組メニュー	前年度までの取組	令和4年度又は令和5年度の取組
ア 土壌診断による施肥設計		
イ 生育診断による施肥設計		
ウ 地域の低投入型の施肥設計の導入		
エ 堆肥の利用		
オ 汚泥肥料の利用(下水汚泥等)		
カ 食品残渣など国内資源の利用(エとオ以外)		
キ 有機質肥料(指定混合肥料等を含む)の利用		
ク 緑肥作物の利用		
ケ 肥料施用量の少ない品種の利用		
コ 低成分肥料(単肥配合を含む)の利用		
サ 可変施肥機の利用(ドローンの活用等も含む)		
シ 局所施肥(側条施肥、うね立て同時施肥、灌注施肥等)の利用		
ス 育苗箱(ポット苗)施肥の利用		
セ 化学肥料の使用量及びコスト節減の観点からの施肥量・肥料銘柄の見直し(ア～スに係るものを除く。)		
ソ 地域特認技術の利用( )		

私は、添付した領収書(請求書)等記載の肥料(肥料費)について以下のとおり、確約します。

**令和4年秋肥又は令和5年春肥として確実に購入し、自らの農業生産に使用します。**

※チェック欄にチェックした上で署名してください。

氏名(自署) \_\_\_\_\_

(注) 当年の肥料費は、秋用肥料については令和4年6月～10月、春用肥料については令和4年11月～令和5年5月に発注したことを証明する書類(注文票等)と、参加農業者が肥料費を支払ったことを証明する書類(領収書等)または支払い義務が生じていることを示す書類(請求書等)を提出すること。  
 なお、肥料の種類、数量、購入費が記載されているものに限る。

群馬県担い手育成総合支援協議会確認欄